

日揮ホールディングスが、プラント設計の大規模化に対応し、エンジニアリングVDI用ストレージ基盤強化でPure Storage FlashArray//X50を採用



アプリケーションのレスポンスやVDIイメージの展開作業を大幅に短縮。ストレージ容量を最大18分の1に削減し、リソースの有効活用が可能に

ITインフラのソリューション・ディストリビューターである株式会社ネットワールド（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 森田晶一）は、日揮ホールディングス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役会長CEO 佐藤雅之）が、グループ会社である日揮グローバル株式会社のストレージ環境の刷新プロジェクトにおいて、ネットワールドが提供するPure Storage社製オールフラッシュ・ストレージ「Pure Storage FlashArray//X50」を採用し、本格稼働開始することを発表します。

日揮グローバルは、各エンジニアが使用する設計環境をエンジニアリングVDI（以下eVDI）で提供していますが、プラントが大規模化している昨今、従来のHDDベースのストレージ環境では、VDIイメージの展開に時間がかかり、また、レスポンスや計算処理速度に問題が生じていました。今回の「Pure Storage FlashArray//X50」によるストレージ環境の刷新により、性能は約10~20倍アップし、より快適に設計が行えるようになりました。

FlashArrayは、パフォーマンスが高いことに加えて、クラウドベースの管理ツール「Pure1」で運用管理作業を効率的に行えること、サポートプログラム「Evergreen Storage」とネットワールドの提供する保守サービスを組み合わせて、定期的に最新のコントローラーの無償提供・交換を行えるため常に最新環境を維持できることなど、保守サポートの充実も評価されました。

「Pure Storage FlashArray//X50」の圧縮・重複排除機能により、ストレージ容量を最大約1/18に削減されており、余裕ができたリソースを、社内で稼働する様々なストレージを統合するための基盤としても活用する計画です。

尚、システムの提案・導入は、ネットワールドのパートナーである富士通エンジニアリングテクノロジーズ株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長 延下哲朗）が担当し、予算や用途に応じた複数の導入パターンを迅速に用意したネットワールドの充実したサポートが高く評価されました。

◆ 導入の背景

日揮グローバルは、海外の各種プラント・施設のEPC（設計・調達・建設）事業を手掛けています。1つのプロジェクトに100社以上のサプライヤーなどが関わるため、高度なプロジェクトマネジメント力が不可欠です。また、プラントが大規模化する近年は、設計業務の効率化にも注力しています。

同社では、従来、設計用ワークステーションを各エンジニアに提供していましたが、端末の管理やセットアップ作業に多くの工数を要するため、効率化の一環として、2013年から、eVDIを活用してきました。そして、昨今、プラントの大規模化やビジネスのグローバル化が進む中で、eVDIを支える基盤により高い能力が求められるようになっていることから、今回発表するストレージ強化を含むインフラ環境改善に着手しました。

同社の設計業務では、プロジェクトや部門ごとに使用するCADソフトやバージョンが異なるため、世界各国の設計拠点に迅速に環境を提供するためには、プロジェクト×部門×ソフトを、いろいろな形で組み合わせたプールをeVDI上に準備しなくてはなりません。HDDベースのストレージを使用していた従来の環境では、VDIイメージの展開作業などに多くの時間を要していました。また、アクセスが集中する朝の時間帯には、ブートストームも生じており、レスポンスや計算処理の速さを確保するために、高性能かつ大容量のストレージが求められました。

◆ 選定のポイントと導入成果

複数製品を比較検討した結果、Pure

Storage社製品は、性能や保守サービスなど、多くの点で優れており、導入ユーザーの満足度の高いことが評価されました。また、予算や用途に応じていくつかの導入パターンを迅速に提案するなどのネットワールドのサポートも高く評価されました。

「Pure Storage

FlashArray//X50」は、クラウドベースの専用管理ツール「Pure1」が提供され、各種の運用管理作業を効率的に行えます。画面はシンプルで分かりやすく、非常に短期間で導入することができました。

旧ストレージ環境のレイテンシは平均約10~20msec程度でしたが、新しい「Pure Storage FlashArray//X50」の環境では1msec以内です。このように、性能が約10~20倍アップしたことでの課題となっていたイメージ展開作業やブートストームの問題も解消。アプリケーションの動作速度も改善され、より快適に設計が行えるようになりました。

「Pure Storage

FlashArray//X50」のスナップショット機能も非常に高速で、クライアント約500台分のスナップショットをほぼ一瞬で完了。リストアも同様のスピードで行えるため、格段に安心感が高まりました。何か問題が発生した場合には、「Pure1」経由でアラート通知や助言が提供され、また、スマートフォンやタブレットからも情報を確認できるため、移動中や外出先でも迅速に対応できます。

また、Pure Storage独自のサポートプログラム「Evergreen

Storage」とネットワールドの保守サービスにより、定期的に最新のコントローラーの無償提供・交換が行えます。これにより面倒な手間を掛けることなく常に最新の環境を維持することができます。

「Pure Storage

FlashArray//X50」の圧縮・重複排除機能により、ストレージ容量を最大約1/18に削減することに成功しましたが、新しい環境のリソースにはかなり余裕があることから、今後、社内で稼働する様々なストレージを統合するための基盤としても活用する計画です。

◆ 日揮ホールディングス株式会社について

<https://www.jgc.com/>

本社：[神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-1](#)

1928年の創業以来、90年以上にわたり日本のエネルギー産業を支え続けてきた日揮グループは、

[2019年10月](#)

、日揮ホールディングス、日揮グローバル、日揮の3社からなる持株会社体制に移行し、さらなる成長を目指す取り組みを展開中です。

■ 株式会社ネットワールドについて

<https://www.networld.co.jp/>

株式会社ネットワールドは、ITインフラストラクチャーのソリューション

ディストリビューターとして、クラウド

コンピューティング時代の企業IT基盤を変革する技術製品と関連サービスを提供しています。サーバー、ストレージやネットワーク、そしてアプリケーションやデスクトップの仮想化に早期から取り組み、次世代のITインフラストラクチャーのあるべき姿をリードしています。

Generated by ぶれりりプレスリリース

<https://www.prrele.com>